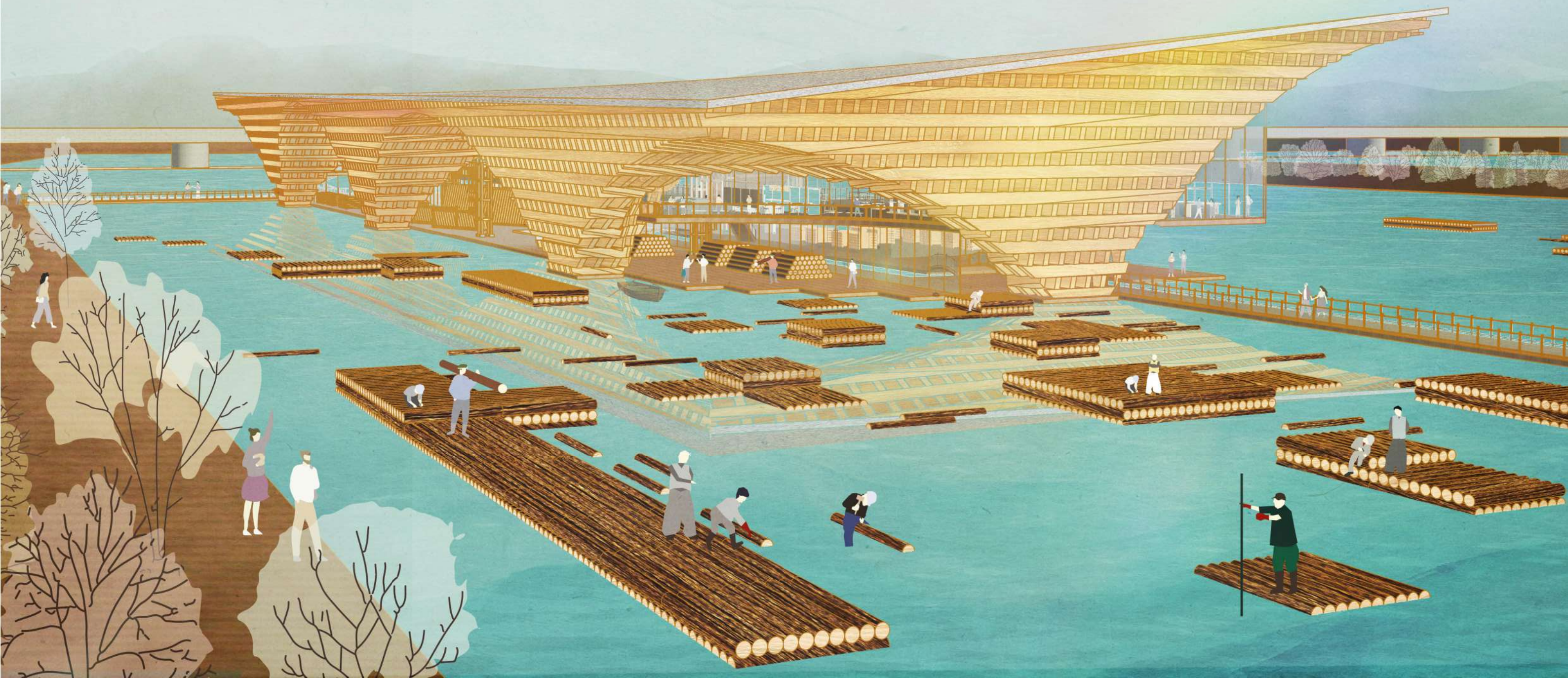


# FURNITURET

大阪府住之江区平林、かつて製材で栄えたこの地には、木の製材技術、モノと人の財産が眠っている。  
そこに木工職人と家具デザイナーを誘致し、「製材 × デザイン」の家具パークを計画。  
消費者が原木からデザイン、製材加工まで家具の制作過程を楽しむことができる新しい施設を提案する。  
大阪に眠る木文化を復活させ発散することで、大阪を元気にする。



## 1 過去 平林に眠る木文化・製材技術

かつて、大阪一の木材集散地

1929年：平林を含む埋立地の完成

1952年：平林貯木場整備

貯木場、製材工場、合板工場、木材市場等を平林に集約、貯木と製材を機能的に整備

1970年頃：木材需要の最盛期

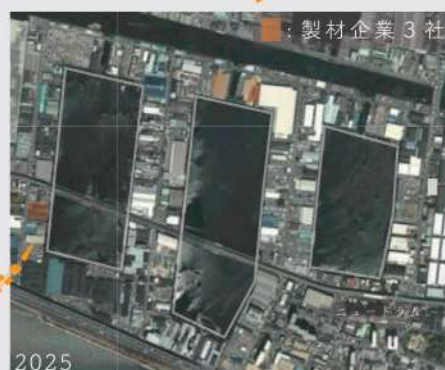
貯木場や水路に溢れんばかりの原木が浮かび多くの生産者が行き来する活気あるまち



## 2 今後 平林の木文化は失われつつある

減少する製材所・埋め立てられる貯木場

- ・原木輸入減・木材需要減
- ・埋め立てによる物流施設等への用地利用



## 3 提案 「製材 × デザイン」で木文化を復興する

平林のポテンシャルと製材技術を活かした土地活用へ

- ・平林にある製材技術を消費者に届ける
- ・原木から選んで家具をつくる新しい体験

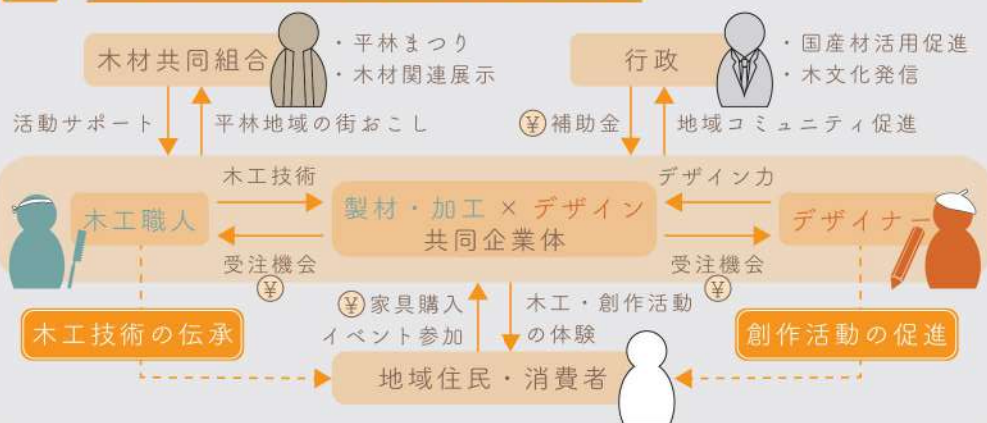
<現在の家具の流れ>



<提案>



## 4 スキーム 平林を元気にする仕組み



## 5 形 平林の新しい風景をつくる「井桁」

記憶

原木と井桁が水面に浮かぶ平林の原風景

- ・横に並びゆらゆらと浮かぶ原木
- ・井桁積みされた原木のブロック



空間

井桁が建築空間になり、記憶を未来へつなぐ

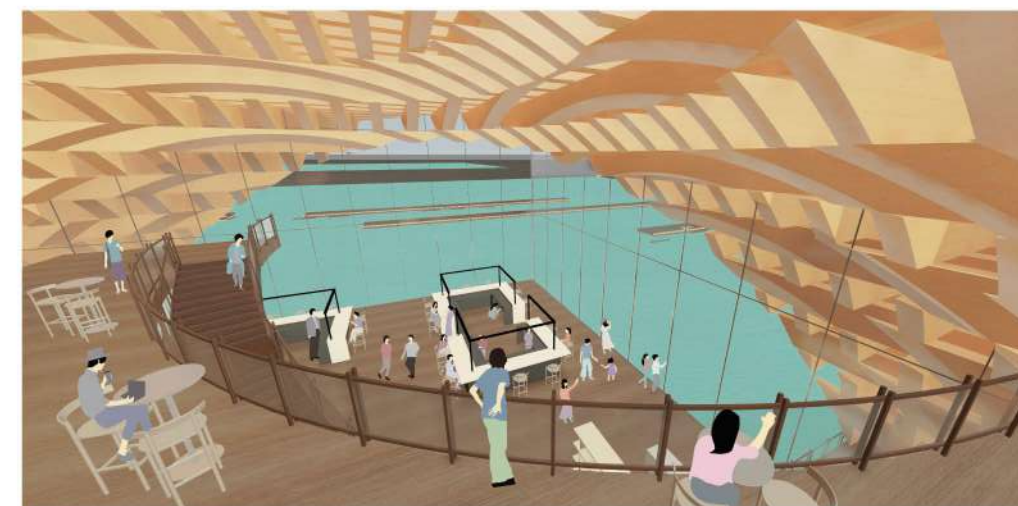
- ・井桁積みがせり出して空間をつくる
- ・木材が組物の技術で自由な空間をつくる



機能

WORKとCREATEが消費者に新しい家具購入体験をとどける

- ・WORK：木工職人の製材・加工過程を見て学ぶ、体験する
- ・CREATE：デザイナーとともに家具への思いを形にする



3階デザインラウンジ：貯木場の水面を望む開放的な空間で家具のデザインを考える



2階見学ルート：製材・加工の様子を担当デザイナーとともに見学する



1階ワークショップ：中央水路に浮かぶ原木を見たり、木工体験をしたりする

